



操作説明書

シリアル番号の範囲

SXTM-135 XCTM

SX135H-101 から

CE

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
First Edition
Second Printing
Part No. 1273021JAGT

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

作業場の安全

▲ 感電の危険

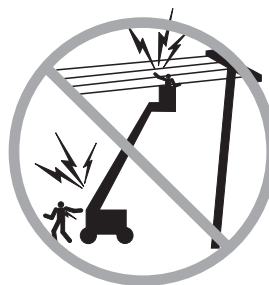
この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

線間電圧	必要な距離
0 ~ 50KV	3.05 m
50 ~ 200KV	4.60 m
200 ~ 350KV	6.10 m
350 ~ 500KV	7.62 m
500 ~ 750KV	10.67 m
750 ~ 1000KV	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。



通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するとき、機械をアースとして使用しないでください。

▲ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、制限された範囲あるいは制限されない動作範囲において、作業台最大積載重量を超えてはなりません。

作業台最大積載重量	300 kg
制限されない動作範囲	
最大作業員数	2
作業台最大積載重量	454 kg
制限された動作範囲	
最大作業員数	3

制限された動作範囲での作業台最大積載重量が選択された場合、制限されていない動作範囲で作業台を移動しないでください。

選択された最大作業台積載重量を超えないでください。

定格 300 kg (制限されていない動作範囲) または 454 kg (制限された作業範囲) の作業台を定格負荷が異なる機械に取り付けしないでください。最大積載重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

操作パネル

- 15 ジブブーム収縮ボタン
ジブブーム収縮ボタンを押すと、ジブブームが収縮します。
- 16 ジブブーム上昇ボタン
ジブブーム上昇ボタンを押すと、ジブブームが上昇します。
- 17 作業台水平上昇ボタン
作業台水平上昇ボタンを押すと、作業台が上昇します。
- 18 作業台水平下降ボタン
作業台水平下降ボタンを押すと、作業台が下降します。
- 19 ジブブーム延長ボタン
ジブブーム延長ボタンを押すと、ジブブームが延長します。
- 20 システム回路用 20A 回路ブレーカー
- 21 アラーム
- 22 バイパス/復元キースイッチ
作業台が水平でなく、作業台水平制御が作動していないことが地上操作パネルに表示されている場合に、作業台を水平にする目的のみでバイパスキーの位置での操作を実施します。操作手順を参照してください。
復元キーの位置での操作は、トレーニングを受け認定された担当者のみによって実施されなければなりません。
- 23 作業台右旋回ボタン
作業台右旋回ボタンを押すと、作業台が右に旋回します。
- 24 作業台左旋回ボタン
作業台左回転ボタンを押すと、作業台が左に旋回します。
- 25 非常電源ボタン
主動力源(エンジン)が始動しない場合に、非常動力を使用します。
非常動力ボタンを押し続けながら、必要な機能を作動させます。
- 26 ジブブーム下降ボタン
ジブブーム下降ボタンを押すと、ジブブームが下降します。
- 27 機能作動スイッチ
機能作動ボタンを押したままにすると、地上操作パネルの機能进行操作できます。

点検

傾斜センサーのテスト

- 24 TURNTABLE LEVEL SENSOR X-DIRECTION (ターンテーブルレベルセンサー X 方向) と表示されるまで、いずれかの LCD 画面コントロール ボタンを押します。
- ◎ 結果: LCD 画面に角度が表示されます。
- 25 TURNTABLE LEVEL SENSOR Y-DIRECTION (ターンテーブルレベルセンサー Y 方向) と表示されるまで、LCD 画面コントロール ボタンを押します。
- ◎ 結果: LCD 画面に角度が表示されます。
- 26 PLATFORM LEVEL SENSOR DEGREES (作業台レベルセンサー角度) と表示されるまで、LCD 画面コントロール ボタンを押します。
- ◎ 結果: LCD 画面に角度が表示されます。



動作包絡面のテスト

- 27 同時に次の 2 つの LCD 画面コントロールボタンを押すと、ステータスモードが作動します。
- 28 PRIMARY ANGLE DEGREES (主角度) と表示されるまで、いずれかの表示されている LCD 画面コントロールボタンを押します。
- 29 ブームを上げて LCD 画面を確認します。
- ◎ 結果: LCD 画面には重力によるブーム角度が表示されます。
- 30 LENGTH SENSOR EXTENSION INCHES (長さセンサーが検出した延長部分、インチ) と表示されるまで、次に表示されている LCD 画面コントロールボタンを押します。
- 31 ブームを延長し LCD 画面を確認します。
- ◎ 結果: LCD 画面にはストリングポテンショメーターの延長した長さを表示します。
- 32 ブームを収縮します。



操作手順

エンジンの始動

- 1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。
- 2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

Deutz モデル

- 1 エンジン始動ボタンを押します。グロープラグがオンの間は、エンジン始動ボタンはいつでも押すことができます。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって3秒間始動できなくなります。



Perkins モデル

- 1 エンジン始動ボタンを押します。



15秒間のクランク後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別して修理してください。60秒間待つてから、再度始動を試みてください。

-6°C以下の寒い状況では、油圧システムの損傷を避けるため、操作の前に5分間エンジンを温めてください。

-18°C以下の極寒の状況では、オプションの低温スタートキットを機械に搭載する必要があります。気温-18°C以下の環境でエンジンを始動する場合、ブースターバッテリーが必要な場合があります。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

非常電源

主動力（エンジン）が停止した場合、非常動力を使用してください。

- 1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。
- 2 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。
- 3 作業台から操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。
- 4 非常電源スイッチをオンにしたまま、同時に必要な機能を作動させます。



走行機能は、非常電源では作動しません。

操作手順

パネルクレードルのアッセンブリ

- 1 各パネルクレードルの前面に、必要に応じて警告ステッカーを貼付してください。
- 2 パネルクレードルのベース部分にラバーバンパー 1 を取り付けます。図を参照してください。
- 3 バンパーをハイプロファイル ロックナット 2 つとウォッシャー 2 つで固定します。

必ず以下に従うこと。

- 定格作業台積載荷重量を超えないでください。クレードル、パネル、作業員、ツール、およびその他の機材を合わせた重量。
- パネルクレードルのアッセンブリの重量は 30 lbs/13.6 kg です。
- パネルクレードルの最大積載重量は 250 lbs/113 kg です。
- パネルクレードルとパネルクレードル内の積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が 1 名に制限される可能性があります。
- パネルを持ち上げる危険について、すべて適切に指示され、認識している場合以外は、操作を行わないでください。
- 機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下がっている状態の積荷を上下に移動させないでください。
- パネルの最大垂直高さ: 1.2 m。
- 最大風速: 6.7 m/秒。
- 最大パネル面積: 3 m²。

注記: 安定した平坦な面に配置し、機械を収納した状態でこの手順を行ってください。

パネルクレードルの取り付け

- 1 フックピースをパネルクレードルのベース部分のスロットに挿入します。
- 2 パネルクレードルを作業台の底部のチューブの希望する位置に掛けます。
- 3 ラバーバンパー 2 をパネルクレードル ベースとフックピースに通して取り付けます。図を参照してください。
- 4 ロープロファイル ロックナット 2 つで固定します。
- 5 パネルクレードルが作業台床のサポートチューブに取り付けられている場合、U ボルトを床側からチューブを囲むようにして、パネルクレードルのベースに挿入します。
- 6 U ボルトをナット 2 つとウォッシャー 2 つで固定します。手順 9 に進みます。
- 7 パネルクレードルが作業台床のサポートチューブに取り付けられていない場合、付属のアルミニウムチューブを使用してください。
- 8 チューブをパネルクレードルと作業台床の間に置きます。U ボルトを床側からチューブを囲むようにしてパネルクレードルのベース部分に挿入します。
- 9 2 つ目のセットも同じようにして取り付けます。

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL